

NPO法人社会還元センター グループわ 会報

情報ぎゃらりー

第30号

情報ギャラリー第30号

発行日 2005年4月28日

編集 グループわ 広報部

発行者 赤司 松美

発行元 NPO法人社会還元センター
グループわ

TEL(078)743-8101 FAX(078)743-3830

Eメール group-wa@wa-net.jp

ホームページ http://www.wa-net.jp

NPO法人第2回定期総会を迎えて

理事長 赤司 松美



グループわもNPO法人として、会員のみならずシルバーカレッジを初め関係者の温かきご支援により来る5月17日(月)第2回の定期総会をカレッジホールで開催する運びとなりました。「時代の要請に応え未来に向かって持続可能な発展的活動」を目指し、2年目の法人としてのグループわの進路を決する大事な総会でもあります。

つきましては皆様の更なるご理解とご支援協力を戴き総力を結集するためにも、万障繰り合わせの上、会員の皆様のご出席を賜りますよう心からお願い申し上げます。

NPO法人取得後1年を経過してグループわの現状と今後の対応について総会を迎えて簡単に所感を述べさせていただきます。

1. 法人格取得後の状況

昨年4月に法人格取得直後の5月第1回の総会において決定した活動方針、並びに予算に基づき企画委員会、運営委員会の審議を得て具体的活動を展開してまいりました。

法人格取得により、グループわの信頼度と期待度が著しく増し、神戸市より委託を受けたこうべ環境未来館の企画運営をはじめ、カレッジからの委託事業など行政、公的団体からの委託事業が得られるようになり、また長寿社会開発センター等よりの助成金獲得が以前に比べ得やすくなると同時にボランティア活動の依頼も増加し会員の皆様の努力によりその期待に応えることができたものと確信しております。会員活動の活性化および財政基盤の確立にもNPO法人取得が大いに貢献したことを実感しております。参画と協同の時代の要請に法人としてのグループわが今後如何にして社会還元の実をあげ寄

与して行くかを会員の皆様と検討し期待に応え、更なる会員の活動の場を提供して行きたいと考えております。

2. 新役員人事

グループわは高齢者の知識経験を生かし社会に還元し寄与したいとの意志で次々に新規卒業生が入会し先輩の活動を継承しその組織が維持されています。

人事についても当然ながら後継者に継承して行くことが肝要と考えています。

17年度はわの活動を理解し継承するに相応しい体制を構築して会員の皆様の期待に応えたいと考えております。

3. 活動方針

現活動を継承し、内外の期待と要請に応え新規活動にも柔軟に対応し活動を更に活性化することを基本方針と致します。

会員の中で本人および家族の健康上の理由で退会せざるを得ない会員がことしも多く見られます。こうした人への簡単な手助けを「お

互い様の気持ちで」会員相互扶助のシステムを構築し活動を始めたいと考えております。またボランティアに必要なスキルアップおよびコミュニケーションの場を提供する取組みも検討したいと考えております。会員の皆様の活動に対するご意見、お知恵を拝借しながら、グループわに入会して良かったと実感の持てる活動を展開できればと念じております。

4. 決算と予算編成

NPO法人格取得により従来の活動の評価と相まって信頼度が増し委託事業および助成金事業が予算作成時より予想以上の数となり、その結果来期繰越金も予想以上に増加する嬉しい結果になりました。これも会員皆様の協力と努力の結果と感謝しております。

会費制導入、法人格取得の総会での承認および会員の理解と努力により2年前の危機的財政状態は現況の心がけと努力を続ける限り一応脱却する見通しがつい

たものと考えられます。

運営上最低必要な繰越金、来るべきわ創立10周年記念事業および新規活動を考慮し、収入と支出を勘案し、会員の活動支援費のあり方を総合的に運営委員会で検討した活力ある予算の提案をさせて戴く所存であります。

目下本部、企画委員会、運営委員会で17年度総会議案について上記意向のもとに慎重に討議中であります。会員の皆様には、情報誌で配布提案し総会において討議して戴く所存であります。

議案書は基本的な事項であり総会は時間的な制約もあります。具体的実施に当たっては皆様の代表でもある運営委員の地区会長、部会代表に遠慮なく意見を申し出ていただき、わの運営に反映されますようお願い申し上げます。

会員皆様の今後益々の活動と“わ”の発展を祈念して抽象的ではありますが所感とさせて戴きます。